

Min-On九州オリジナルコンサート
～九州大陸 大地の物語～

ビエント
Viento & 和楽団 Japan
ジャパン
マーベラス
Marvelous

いーきんばー
・I-KinBa!

公演日程
2026年

11.9 (月) 19:00 延岡総合文化センター

入場料金

¥5,600 〈税込〉

チケットの
お求めは

●チケットぴあ [https://t.pia.jp/\(セブン-イレブン\)](https://t.pia.jp/(セブン-イレブン)) [Pコード:329-317]
●ローソンチケット ①WEB <https://l-tike.com/> ②ローソン・ミニストップ店頭Loppi [Lコード:82222]
●イープラス [https://eplus.jp/\(ファミリーマート\)](https://eplus.jp/(ファミリーマート))
延岡総合文化センター ☎0982(22)1855、たつたレコード ☎0982(35)3133、西村楽器延岡店 ☎0982(32)3387
野口遵記念館 ☎0982(31)3337、延岡市役所売店、門川町総合文化会館、日向市文化交流センター

お問い合わせ

MIN-ON延岡 ☎0982(26)2765

※未就学児童の入場は固くお断り致します。

主催: MIN-ON、(公財)のべおか文化事業団 後援: 夕刊デイリー新聞社、ケーブルメディアワイワイ、FMのべおか
制作協力: SLI CO., LTD.



民音公演、民音学校コンサートで数々の感動の輪を広げてきた2組が同じステージに登場します！

Viento (ビエント)

熊本阿蘇をテーマにインストゥルメンタル音楽を奏でるデュオグループ。

ケーナ、オカリナの主旋律とシンセサイザーの伴奏で音楽を形成する。その音楽はまるで阿蘇を描く印象派の絵画のようであり、音楽の中に阿蘇の景色がしっかりと刻まれている。1998年の結成から28年。これまでにアルバム18作品、ミニアルバム4作品、ベストアルバム1作品をリリース。

阿蘇の小さな村を拠点としながらも、いかなるコンサート会場も常に満席。舞台こそが彼らの生きる場所なのかもしれない。演奏活動の他、映画音楽や全国放送・九州各局のテレビ映像作品にも楽曲を提供する。2016年の熊本地震では阿蘇西原村のオフィスは倒壊を免れたものの、楽器と楽曲データが被災し多くの作品データを失う。その後半年の避難生活を経て徐々に活動を再開した。

吉川と竹口、二人が奏でる音楽は阿蘇の風となって吹きわたっている。

主な作品

世界遺産沖ノ島テーマ『海都ムナカタ』組曲 映像作品 JAL 国際線全便にて放映。／『JNN 新・九州遺産』テーマ曲挿入曲／TBS『又吉直樹 神の島に行く』番組テーマ曲挿入曲／2017年日本ジャーナリスト大賞映画作品『抗い』テーマ曲挿入曲／NHK4K 映像作品『マガン大飛翔』『美瑛の丘』『大雪山』などに楽曲提供。／インディペンデント映画祭最優秀ドキュメンタリー映画賞受賞作品『標的』テーマ曲挿入曲など。



吉川 万里 (ヨシカワ バンリ)

語り・ケーナ・オカリナ・サンポーニャ他。南米仕込みのケーナはジャズで培った技量と融合し、独特の美しさと迫力をもって Viento の主旋律を奏でる。ライブで聴かせる熊本弁による語りも持ち味のひとつ。



竹口 美紀 (タケグチ ミキ)

作曲・編曲・シンセサイザー他。阿蘇の自然を日常生活の中で体感しながらシンセサイザーで Viento の音楽を紡ぎ出す。その表現は驚くほど多彩。近年、子供達の音楽活動の支援育成もしている。

和楽団 Japan Marvelous (ジャパンマーベラス)

和楽団ジャパンマーベラスは、和太鼓を中心とした日本の古典楽器本来のスタイルを生かしながら、古典楽器の可能性を追求すべく和楽の粋にとらわれないパフォーマンスを行い、好評を得ている。2014年、スコットランドで開催される世界最大級の芸術の祭典「エディンバラ・フェスティバル・フリンジ」にて1ヶ月間のロングラン公演を行い、2年連続最高評価★★★★★5スターを獲得。またフリンジ・レビューアーの編集長が選ぶ最も優れた舞台作品賞、スリーウィークス・エディターズ・アワードを受賞する快挙を成し遂げる。2018年、第25回福岡県文化賞を受賞。2020年1月より豪華客船ゲンティン・ドリーム号に乗船しシンガポールを始め、マレーシア、インドネシア、タイなどの国を周遊し船内の大型劇場にてロングラン公演を行う。2022年ローザンヌを始めとする、スイスツアーを行い大盛況を収める。現在、世界が認めた「和楽団ジャパンマーベラス」となり、世界各国で日本の魂を広げている。2026年収録・デジタルリリースした楽曲が、iTunes Japan インストゥルメンタル部門 デイリーチャートにて第9位にランクインしました。



ホームページ



和楽団 Japan Marvelous 団長 西口 勝 (ニシグチ マサル)



8歳で父が始めた和太鼓の魅力に惹かれ、和太鼓の道へ。
和太鼓奏者として、他の和楽器や多ジャンルのアーティストとの共演を重ね、豊富な経験を持つ。
和楽団ジャパンマーベラスでは舞台の作曲・演出・構成を手掛け、和太鼓コンサートと多彩なジャンルの演出も行い、高く評価される。また、TV、CM、Netflix、プロスポーツチームへの楽曲提供と出演の実績を持ち、指導者としても厚い信頼を集める。国内の和太鼓チーム指導を通じ、青少年の育成にも力を注ぎ、世界に認められた和楽団ジャパンマーベラスの団長として活動中。

尺八奏者 瀧北 榮山 (タキキタ エイザン)



福岡県福岡市出身。
10歳より始めた尺八を宮地牙山師、三好莞山師、野村峰山師(人間国宝)、三曲合奏を富山清琴師(人間国宝)に師事。
古典を基盤としつつも、ジャズやポップス、ヒップホップ、民謡など、音楽ジャンルは幅広く活動しており、最近では尺八アンサンブルや独奏曲の委嘱作品を多く初演、発表しその音楽性を広げている。

都山流尺八楽会准師範・師範試験共に首席登第。
東京藝術大学音楽学部邦楽科尺八専攻卒業。
同大学大学院修士課程音楽研究科修了。
都山流大師範。九州大学非常勤講師。

2009年～2012年 4年連続でほとんどのCM(うな重編・全国版)にて出演・作曲
2015年 ソフトバンクホークス鷹の祭典和太鼓演奏作曲
2015年 スリーウィークス・エディターズ・アワード受賞(和楽団 Japan Marvelous)
2018年 第25回福岡県文化賞受賞(和楽団 Japan Marvelous)
2019年 フランスツアー舞台演出
2022年 スイスツアー舞台演出
福岡ソフトバンクホークス対日本ハムファイターズ開幕戦 和太鼓演奏作曲
2023年 第47回福岡市文化賞受賞(和楽団 Japan Marvelous)
世界が認めた和楽団ジャパンマーベラスの団長として、現在活動中

2018年 jazz album『innocence』をリリース
2019年・2024年 福岡 大濠能楽堂にて『瀧北榮山 尺八之會』を開催
2021年 サントリーホールにて東京ゲームショウ初のフルオーケストラコンサートソリスト
2023年 世界水泳選手権2023福岡大会 演奏
2025年 太宰府天満宮奉納演奏
七月大歌舞伎 松本幸四郎 演出・主演『鬼平犯科帳』楽曲制作